

平成29年度地域づくり人材養成講座 第2回ワークショップ開催概要

日 時	平成29年7月9日(日) 10:00~12:00
場 所	中津川市坂下公民館
指導・助言者	岐阜大学地域協学センター長 益川 浩一 教授
ファシリテーター	コミュニティ診断士 伊藤 敏樹 氏、熊倉 丈夫 氏、倉地 幸子 氏、 藤本 久子 氏、前田 健一 氏
受講者	18名
主 催 者	岐阜県環境生活部県民生活課 中津川市文化スポーツ部生涯学習スポーツ課
内 容	<p>◆開会</p> <p>1 指導・助言者紹介</p> <p>◆活動発表</p> <p><u>発表者：中津川市坂下地区郷土文化財保存会 会長 早川 英雄 様</u> 「中津川市坂下地区郷土文化財保存会の活動 ～上野・坂下ふるさと歴史資料館 柘蔵（はなのくら）開館に至るまで～」</p> <p><保存会の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に眠る郷土の古民具、埋蔵文化財や郷土資料の喪失を防ぐため平成25年に設立 ・場所の確保、部屋の改造、展示パネルなどの準備を行い、平成28年12月に「上野・坂下ふるさと歴史資料館 柘蔵（はなのくら）」を開館 →予約制で当番の会員が開館し、立ち合い説明する運営方式をとっている <p><活動発表の概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市・地域団体・地域住民など様々な方々の理解・協力のおかげで、歴史資料館を開館することができた ・歴史資料館準備中に、地元小学生が授業の一環で来館してくれたことが励みになった →小学生が興味を持つ展示になるよう協議した ・他地域にある小さな資料館と交流を図り、孤立・埋没しないようにしていきたい →現在も他地域の資料館関係者が見学に来られ、つながりができつつある <p>○益川先生コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存会会員の方々の地域を大事に想う心、真摯な取組み、地道な取組みについて分かった ・開館に向けて、いろんな方々のサポートがあったこともよかった ・本講座中に計画する地域活動の素材として活かされるのではないかな <p>◆ワークショップ</p> <p>1 前回の振り返り</p> <p>2 地域活動を計画する上でのポイント</p> <p>3 グループワーク</p> <p>前回多く意見として挙げられた「男性向けの取組み」「川の活用」「情報発信」「世代間交流」の4つのテーマに分かれ、どんな地域活動をするか計画を立て始めました。今回・次回と2日間かけて計画を立てます。</p>



▲発表者の早川会長



●各グループの途中経過

<男性向けの取組み>

◎幅広い世代の男性向け「男の魅力開発講座～快適な居場所づくり～」を実施したい

- ・料理、健康、旅行など様々な講座を実施
- ・運動不足解消、居場所・仲間づくり、男性の家庭内自立を目標とする



<川の活用>

- ・イベントのように一過性で終わるものではなく、継続できるものがよい
→川マップづくり、川の整備、川についての学習 など

- ・子どもの頃から川に親しんでいれば、大人になっても親しめる
- ・川でいろんなことが体験できれば、川の整備につながる



◎親子向けの川体験の講座を実施したい



<情報発信>

◎課題と現状について検討

- ・課題：地元の人が地元のことを知らない、親が知らないため、子どもに教えられる
- ・現状：公民館やホームページ、広報誌など利用できるものはあるものの、活用がうまくされていない



<世代間交流>

◎実施したい活動について検討

- ・交流スペースづくり、ふれあえる場所づくり
- ・三世代が交流できるイベント
- ・地域の文化（地域間・世代間）交流、情報交換

